



桃一通信

No. 6 5 0

桃井第一小学校
(3390)3178(代)

令和3年 3月号



1年間、どうもありがとうございました。

校長 高橋 浩平

令和2年度が終わろうとしています。今年度は本当にイレギュラーな年でした。年度当初の学校だよりは次のようにスタートしました。

令和2年度が始まりました。令和元年度の卒業式は区内のどの学校も新型コロナウイルスの影響で簡素化された卒業式でした。そして新年度になっても感染拡大は止まらず、入学式も簡素化、そして5月6日まで臨時休校が延長されることになりました。学校としてもいままで経験したことのない状況ですが、致し方ありません。メールやホームページ等でご家庭と連携を図っていききたいと思います。

臨時休校を経て、6月からの学校再開、7月いっぱいまでの1学期、リモートで行った離任式、学年ごとの実施になったモモリンピック、と様々な変更がありました。5、6年生の移動教室は中止、年度当初11月に実施予定だった桃一美術館は1月に延期、さらに緊急事態宣言が発令されて3月にまた延びました。入場制限をしながらの開催ですが、ご覧になっていただけたと思います。

今年は創立145周年の年でしたが、これも記念イベント等はできず、2月8日の全校朝会(オンライン)の時に、140周年で作成した桃一の歴史のDVDを視聴し、周年の記念リーフレットと記念品を配布して終わりました。PTAからは周年の記念品としてLEDライトをいただきました。ありがとうございました。

新型コロナの影響で、予定していた「からだ力」と「道徳」の公開研究会も中止になりました。保護者の皆様、地域の皆様、関係者の皆様には研究リーフレットを配布し、本校の研究・実践の一端に触れていただこうと考えています。また一年間を振り返って「教育活動報告書」を作成中です。これもお配りする予定です。年度末になってしまうと思いますが、ご覧いただけたらと思います。

休校期間中も含め、保護者の皆様には健康カードの記入、体調管理等、多くのご苦勞をおかけしたと思います。またたくさんのご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。地域の皆様、直接お話をしたり、一緒に何かを活動したりという場面は減ってしまいましたが、様々なところで学校に対してのご支援・ご協力を賜りましたこと、感謝申し上げます。関係者の皆様におかれましては、コロナ禍で教育活動に制限のある中、学校をご支援いただき、ありがとうございました。

そして何よりがんばったのは子供たちです。改めて「子供たちは地域の宝、国の宝」だと思いました。「学校に子供たちがいる」その当たり前ができなくなった2か月間、多くのことを考えさせられました。そして学校再開後、子供たちの元気な笑顔に支えられてきたこともまた事実です。コロナ禍の中、がんばった子供たちをほめてやりたいです。

一年間、本校の教育活動にご理解・ご支援・ご協力を賜り、本当にありがとうございました。来年度もまたどうぞよろしくお願いいたします。



もうすぐ進級！（各学年の様子）

1年生

友達にやっと会えるわくわくした気持ちと、ちょっぴり不安でドキドキした気持ちだった初めての登校から一年が過ぎようとしています。友達づくりも、身の回りの準備も、授業のことも毎日必死だった彼らが、今ではすっかり『小学生』らしく、友達と協力しながら自分の身の回りのことがしっかりとできるようになりました。また、どんなことにも挑戦し、時に友達と助け合って乗り越えた1年間の経験から自信ももつことができました。来年度からは、いよいよ2年生。新しく挑戦し続ける姿を見るのが楽しみです。

2年生

生活科「自分 はっけん」の学習では、自分の成長を振り返り、冊子にまとめています。「小さくてかわいー。」「小さい頃と顔が変わらないね。」など、それぞれの幼い頃の写真を楽しそうに見合っています。また、できるようになったことを振り返り、「九九が言えるようになった」「字が丁寧に書けるようになった」など、多くのことが「できるようになった」と、実感していました。2年生はこの1年間で「できる」ことが増え、「頑張ろう」とする姿勢が見られています。この姿勢を大切に、「前向き」な新3年生を目指していきたいと思います。

3年生

3年生がスタートして、約1年が経ちました。緊張していた中、友達と様々な時間を共にし、協力しながら学習や学校生活を過ごしてきました。3年生で始まった学習もたくさんありました。書写では、初めは筆の使い方に苦戦していましたが、のびのびとした字を書くことができるようになってきました。また、タブレットを使った授業ではローマ字入力に挑戦しました。ローマ字表を見ながら打っていましたが、今ではプレゼンテーションの原稿を作れるほど成長しました。4年生になってもさらなる成長を願っています。

4年生

「あいさつ・ルール・思いやり」をテーマにスタートした4年生。2月の代表委員が募ったあいさつ運動のときには、たくさんのボランティアが参加しました。マスクをつけたままですが、目を向け、相手に伝わるようにあいさつをする姿がたくさん見られました。教室ではプリントを受け取る際に「ありがとうございます。」と言う子供たちもたくさんいます。そういった成長が見られる一方で、ルールがあまくなってきたり、思いやりに欠ける言動が見られたりします。高学年に向けて、もう一度目標をふり返り、ステップアップしてほしいと思います。

5年生

高学年の仲間入りからもうすぐ1年が経ちますが、この状況下で思うような活動ができずに過ごしてきました。我慢の日々の中で、委員会の当番活動など真面目に取り組む姿を頼もしく思います。今まではなかった不安や悩みを感じることも出てきましたが、友達や家族の支えがあり、前に進んでいます。「6年生を送る会」に向け、実行委員会を中心に準備してきました。これから、たてわり班や校旗当番など最高学年としての責任を引き継いでいきます。桃一小の代表として、さらに充実した1年間になることを期待しています。



小学校生活のまとめ 6年生！

地球の未来と自分の未来

6年生は、総合的な学習の時間でSDGsの17テーマを課題にしたプレゼン大会を行いました。5年生のときに学習した、より効果的なプレゼンテーションの仕方を意識し、一人一人が素晴らしい発表を行いました。プレゼンテーションの制作にあたって、課題や解決策を知るために自分たちでアンケートや質問用紙を作成し当事者の方々に質問をしたり、調査を行ったりしました。これから先、どのような大人になり、これらの問題にどのように関わっていくのか深く考えさせられる内容の発表でした。



実行委員の活動

コロナウイルス感染症の拡大により様々な制約がある中でも、2学期から実行委員を中心に活動を行っています。運動会実行委員・イベント実行委員・卒業文集実行委員・展覧会実行委員・卒業式実行委員があり、実行委員を中心に話し合って内容を決め、行事の準備や進行に携わりました。自分たちで進んで考え、学年や学校を動かす様子に頼もしさを感じました。

生活指導部だより 3月の生活目標「気持ちよく進級しよう」

朝夕はまだ寒い日もありますが、昼間は暖くなり、春の訪れを感じるようになってきました。校庭の木々も春の訪れを待ちわびているようです。

さて、あと1か月で今の学年は終わり、4月からはひとつ上の学年に進級します。学年末なので、自分の身の回りの整理整頓をしながら、少しずつ荷物を持ち帰っていきます。家に持ち帰った物はきちんと整理したり、補充したりしてください。また、名前や学年をはっきりと書き直し、進級した時に気持ちよく使えるように準備をお願いします。特に毎日使う道具箱の中身、上ばきや体操服も自分の足や体に合っているかを確認し、不備があれば春休みに用意しておくようにしてください。

また、4月からは新しい教室、新しい環境になります。3月のうちに健康カードの記入や手洗い・消毒をする、時間を見て行動するなど基本的な生活習慣はすすんでできるようにしていきましょう。

